

1 答申について

※「戸田市自治基本条例について（諮問）」参照

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経験した私たちが、社会状況の変化に対応しながら、どのようにまちづくりの担い手としての市民参加を促進していくか、検討してください。

前々回の会議にて、皆様からいただいた意見を整理し、具体性のある内容で市長への答申としたい。

皆様の意見を下記の4つに分類し、それぞれ実現可能な提案を検討していく。

《答申の骨子》

●【現状】

- ・コロナによる空白の2年をどう戻していくか。コロナでイベント参加数やイベント規模の縮小など、存続できるか心配である。
- ・コロナで時間の使い方の変化により、新たな担い手も出てきている。何かしたい！と思う人に支援がどこまでできるかが重要である。

●【市民参加を促すにはどうすればいいか】

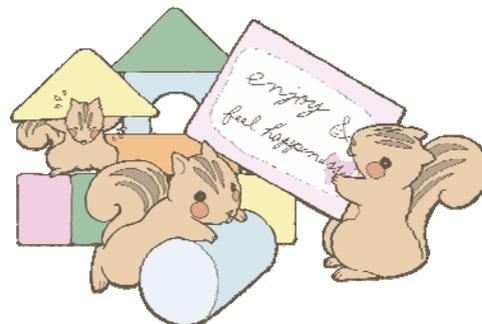
①情報の発信と管理～自治基本条例の理念の普及啓発、事例発掘とアーカイブ化（記録）～

市民一人一人が担い手であるという自覚を持ってもらう

- ・若い世代へのアプローチ手法として SNS や Twitter での情報発信
- ・LINE を活用したクイズ形式での投票やアンケートを実施するなど
- ・カードゲームを取り入れたシミュレーションの活用
- ・参加対象はみんな（子供や外国人も対象）であるという理解を広げるため、子どもの企画によるイベント開催など
- ・リーフレットの活用で興味のある人の足掛かりに

協働の事例の共有

- ・市民団体への意見聴取、活動など
- ・Zoom 研究会『Zoom de まちづくり』で事例共有



②課題の見える化 ～戸田市の実情の把握～

戸田市の課題の見える化をする → 「委員会」による調査・研究

- ・制度、補助金の見直し＝税金の使い方の見直し
- ・補助金メニュー作り

委員会として現行の制度やあり方について検証し、課題を「見える化」する事も協働を推進する事につながるのではないかと。

③つながる「場」 ～課題共有の「機会」～

課題を抱える人が参加できる相談・協議の場

- ・気軽に声を掛けられる場の提供
- ・オンラインを活用した場を作る。
- ・既に TOMATO で行っている相談支援の周知
- ・Zoom 研究会『Zoom de まちづくり』で事例共有

④つながる「場」 ～協働の「機会」～

応答する人が参加・参画できる機会の提供

- ・自治基本条例と個別法との整合性の検討
- ・市役所と民間企業との連携、ネットワークを広げる。
- ・ICT を活用し、市民の意見がすぐ届くような体系づくり
- ・パブリック・コメントの条例案作り、市民参加すべき審議会について提案
- ・市民参加の段階を認定していくなどの仕組みをつくる。

参加者へのインセンティブ

- ・参加者への報奨制度（戸田オールなど）の検討
- ・参加者への LINE スタンプ提供

《前回の議論内容（抜粋）》

1 グループ（委員長、小野塚委員、芳賀委員、牧野委員、木本委員）の内容

- ・新型コロナウイルス感染症によるリモートワークの普及などでできた時間を市民活動に向けていく方法は。
- ・TOMATO に登録されていない団体を、どう支援するか。
- ・市民活動団体を応援する「認定ステッカー」を作成するのはいかがか。

2 グループ（副委員長、松下委員、宮澤浩二委員、矢澤委員、長尾委員、細井委員）の内容

- ・市民活動への無関心層や、少し興味があるが何もしていない人へアプローチの方法について。
（例 電子広告など）
- ・それぞれの市民とまちとのつながりをどう活性化するか。
- ・市民活動団体や企業などのつながりをもっと持てるようにするには。

《今回の議論について》

第4回委員会でのご意見や骨子を、実行性のあるものにするために、より具体的な提案まで考えてみる。

例えば、「市民活動団体の認定ステッカー制度」を作るとすると、認定組織は？認定内容は？運営は誰が？ のように実現するようなモデルを考える。

前回とは別の切り口で新たにご提案でも構いませんので、骨子をより具体化し、実現性のあるものにしていくための、沢山の具体策のご意見を色々な視点からお願いします。

2 その他

(1) 啓発活動について

『第7回さくらパルまつり』における啓発活動について (報告)

開催日時：令和5年3月25日(土) 10時～15時

開催場所：新曽南多世代交流館(さくらパル) 1階、2階

参加者：委員長、芳賀委員、小野塚委員、木本委員、長尾委員、浅生委員、
事務局2名



実施内容：・イベント来場者に対して、自治基本条例マンガパンフレット等を
封入した啓発品(コットンエコバッグ)を250セット配布。
・ブースにてパネル展示を行うと共に、クイズ用紙を配布し、
回答した人(103人)に対して啓発品(メモ帳)を配布。



展示物

- ・私たちのまち「戸田」のため、一人ひとりができること。
- ・自治基本条例制定の背景と基本理念
- ・自治基本条例を知ろう!
- ・まちづくりの基本原則(基本となる進め方)
- ・まちづくりの主体とその役割
- ・りすのイラスト、説明



配布物(啓発品)

来場者全員 (戸田市自治基本条例啓発用マンガパンフレット)

- ・みんなのちからで戸田のまちづくり
(戸田市自治基本条例啓発用リーフレット)
- ・自治基本条例啓発品イラスト説明資料
- ・コットンエコバック



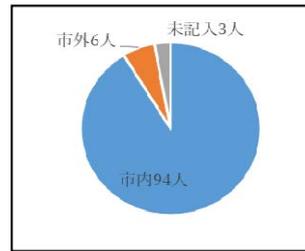
展示ブース来場者のみ

- ・みんなの戸田のまちづくりクイズ!
- ・メモ帳

《アンケート集計結果》

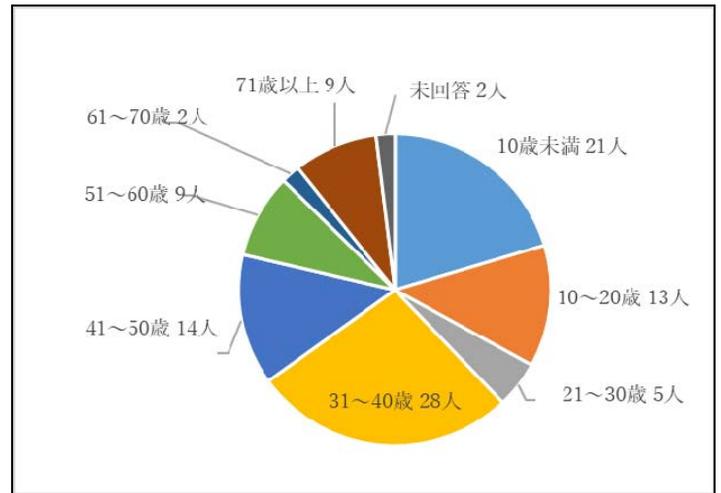
1、あなたは今どこに住んでいますか？ (人)

市内	94
市外	6
未回答	3
計	103



2、あなたは今何歳ですか？ (人)

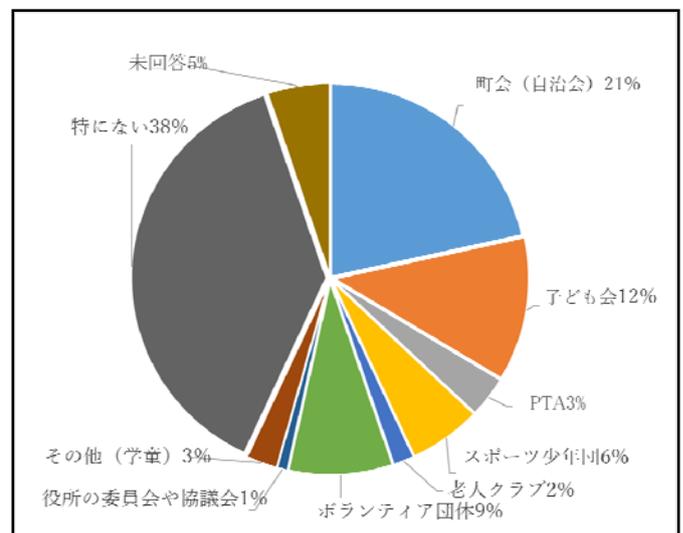
10歳未満	21
10～20歳	13
21～30歳	5
31～40歳	28
41～50歳	14
51～60歳	9
61～70歳	2
71歳以上	9
未回答	2
計	103



3、あなたが今、参加しているものがこ

の中にありますか(複数可) (人)

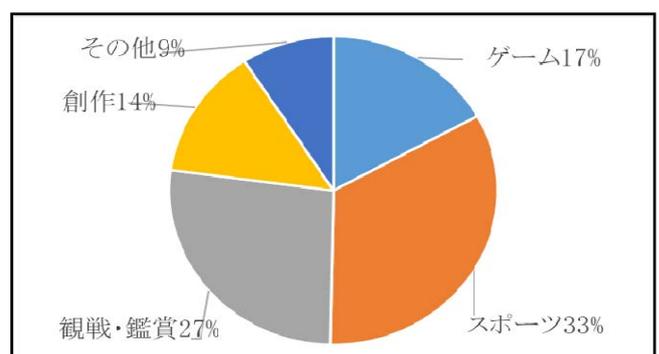
町会(自治会)	25
子ども会	14
PTA	4
スポーツ少年団	7
老人クラブ	2
ボランティア団体	10
役所の委員会や協議会	1
その他(学童)	3
特にない	44
未回答	6



4、あなたが今好きなことは何ですか?(複数可)

(人)

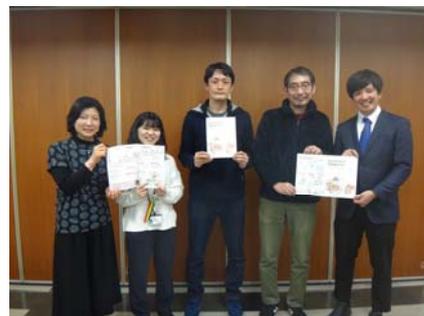
ゲーム	26
スポーツ	51
観戦・鑑賞	41
創作	21
その他	14



(2) 自治基本条例啓発リーフレットについて

目的：公共施設の情報ラックや窓口に設置し、「まちづくり」はとても身近で気軽に参加できるものであることを記載し、まちづくりへの参加を促しながら、自治基本条例の理念の普及啓発を目指す。

内容：リスのイラストを活用した戸田流のリーフレットの作成



ワーキングメンバー：岩本副委員長、小野塚委員、矢澤委員、木本委員、
細井委員（第三期委員）、長尾委員

作成スケジュール：令和4年11月14日 第1回ワーキング会議

12月19日 第2回ワーキング会議

12月下旬～ リーフレット案の確認

①ワーキングメンバーにて確認、修正

②庁内の担当部署に説明、確認、修正

令和5年 1月17日 第4回委員会にて完成案を提示

令和5年 1月末 庁内の担当部署に確認依頼

令和5年 2月中旬 業者に印刷依頼

令和5年 3月末 完成品を公共施設に配布

【配架先一覧】 公共施設24か所（30部ずつ）

市役所2階 総合案内	彩湖自然学習センター（みどりパル）
市役所2階 市民課	福祉保健センター
市役所3階 協働推進課	戸田公園駅前行政センター
ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）	教育センター
笹目コミュニティセンター（コンパル）	児童センターこどもの国
新曽南多世代交流館（さくらパル）	児童センタープリムローズ
上戸田地域交流センター（あいパル）	戸田市水と緑の公社
西部福祉センター	新曽南庁舎
東部福祉センター	国際交流協会（TiFA）
新曽福祉センター	市民医療センター
文化会館	心身障害者福祉センター
スポーツセンター	
図書館・郷土博物館	

【配架先一覧】 令和5年5月のみ

株式会社セブンイレブンジャパン	市内 20 店舗×15 部
第一生命保険株式会社（保険契約者・営業先企業）	保険契約者・営業先企画
株式会社ファミリーマート	市内 18 店舗×15 部
日本郵便株式会社	市内 9 局×15 部

（3）Zoom を利用した研究会「Zoom de まちづくり」について

戸田市内の団体活動の現状や課題について、より理解を深めることを目的とし、任意参加による研究会を委員会の開催月以外で継続

「第二回 Zoom de まちづくり」※詳細は会議録を参照

開催日：令和5年2月21日（火）

開催時間：19時～20時

参加者：11名（委員9名＋事務局2名）

内容：宮澤正委員が発題者となり、喜沢一丁目町会の特徴や課題解決に向けた取り組みなどをお話いただいた。その後、感想や質問、提案などを参加者がそれぞれ行った。
2回目となり、Zoomでの開催にも皆さんが少しずつ慣れてきた様子であった。
戸田市の47町会・自治会はそれぞれ特徴があり、様々な課題や取り組みがある中で、喜沢一丁目町会の現状を知るきっかけとなった。「魅力ある町会活動の実施に向けて、これからも尽力していきたい」という宮澤正委員の力強いお言葉は、今後、戸田市の町会・自治会が更に活性化していくことを期待したくなるものだった。

委員長にYouTubeを作成いただき、後日でも見られる形となっている。また、今後多くの参加者を募る場合に備えて、出欠確認フォームを利用しつつ、運営の仕方を工夫してもよいだろう。

次回は5月23日（火）を予定（時間は調整中）

様々な視点からまちづくりに繋げていきたいので、ご意見やご提案があれば是非いただきたい。

事務連絡 次回 第6回推進委員会

開催予定日時 令和5年7月下旬 午後7時～

メ 七

